

## 集団生活を通して学び、学年としてのレベルを高めることができました 2年 下田移動教室 6月28日(水)～30日(金)

初日28日(水)、「爪木崎へのオリエンテーリング」を行いました。1時間弱の遊歩道でしたが、急な登りもあり、思いのほかハードなコースでした。それでも、途中の海を見渡せるスポットでは、雄大な景色を見ることができ、とても気持ちがよかったです。爪木崎のゴールで海を見下ろしながら食べる甘いソフトクリームは、疲れた体に染みて、心地よいひと時でした。



その日の夜のジオ学習では、伊豆半島ジオガイド協会の方にきていただき、学習会を実施しました。はじめに伊豆半島の成り立ちについての解説ビデオを視聴し、その後、伊豆半島各地の砂のサンプルで「伊豆半島 砂の標本」を製作、それをもとに考えたことを発表し合いながら、伊豆半島の成り立ちについての理解を深めました。実際の砂を見比べてみるとその違いやそれぞれの特徴は歴然で、実感を持って理解することができました。

二日目29日(木)、午前は、下田市内班行動でした。慣れない土地のため、バスに乗れずに体験活動場所を到着できなかったり、道に迷ってしまいなかなか予定通りに回れなかったりと、各班それぞれ苦労しましたが、なんとか昼食時刻には全班、学園に戻ってくることができました。



午後は、外浦海岸でのシーカヤックとサンドアートでした。シーカヤックは、どのグループも思いのほか上手にシーカヤックを操り、各学級とも沖に設定した集合地点に集まった一方で、戻りは風向きのおかげでうまく進まず、横転してボートに支援してもらったグループなどもありましたが、そうした経験を含めよい体験活動ができました。

サンドアートは、シーカヤックの待ち時間を使ってつくったとは思えない、なかなか見ごたえある出来栄でした。熱中症が心配されましたが、水筒の水のほかにペットボトルを配り飲む時間を設定したり、活動の合間に海水で体を冷やす時間を確保するなど対策をしたことで、事故なく楽しく活動することができました。



夜のシークラフトづくりは、貝殻やシーグラス、それにビーズを使って装飾するフォトフレームづくりでした。みんな思い思いにグルーガンを使って貼り付けていくと、はやい人で20分、ゆっくりの人でも制限時間の40分あれば完成させることができました。用意していただいたシーグラスは柔らかな水色、貝殻も淡い色合いなので、それを使って作ったフォトフレームは、どれも夏に涼しさを感じさせてくれる、これからの季節に似合う作品に仕上がりました。

三日目30日(金)は時折小雨がぱらつく天気でしたが、伊豆シャボテン動物公園の見学をしました。ここの特徴は動物たちとの距離が近く、カピバラやミーアキャット、プレーリードッグなどをすぐ手の届くところで見ることができ、孔雀も放し飼いのため、目の前で羽根を広げたりしました。1時間ほどの見学時間でしたが、十分楽しむことができました。



今回の移動教室では、学校外での集団生活を通じて、多くのことを学びました。そのなかで、学年としての行動の仕方がどんどん上手になっていく姿を見ることができました。この力を、今度は学校生活で活かすことで、自分たちのものとなっていくことが期待できる、移動教室になりました。